

門司港地域複合公共施設の実施設計の事業者決定について(報告)

1 事業概要および令和4年度の業務

門司港地域複合公共施設整備事業は、公共施設マネジメントのモデルプロジェクトとして、老朽化した公共施設を門司港駅周辺に集約し、複合化・多機能化することで、施設利用者の利便性の向上及び市民サービスの効率化や地域の活性化を図ることを目標に取り組んでいる。

昨年度は基本設計が完了し、その後、本年4月にかけて公共事業評価(事前評価2)を行い、事業を計画どおり進めることとなった。

本年度は令和9年度の供用開始に向けて実施設計を行う。

- 門司港地域複合公共施設整備事業[概要]
- 門司港地域複合公共施設の整備イメージ

2 実施設計の契約手続き

令和4年7月20日 公告 予定価格 2億 8,175万円 (税込 3億 992万 5,000円)

8月 8日 参加申込受付期限

8月30日 開札

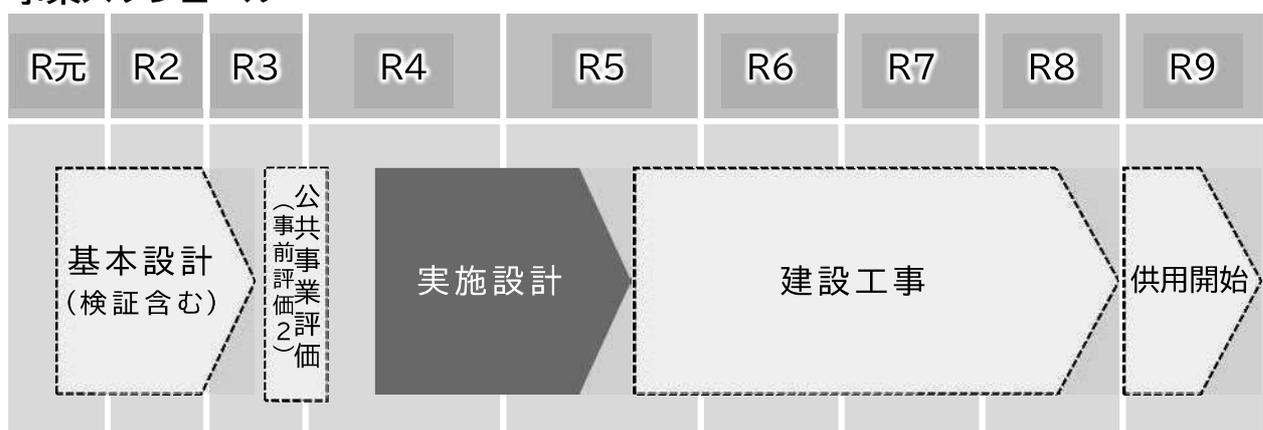
9月 8日 契約 (履行期間:令和5年11月30日まで)

3 契約結果

契約業者: 山下設計・久保建築設計共同企業体

契約金額: 2億 1,977万 4,000円 (税込 2億 4,175万 1,400円)

4 事業スケジュール



門司港地域複合公共施設整備事業〔概要版〕

【北九州市公共施設マネジメント実行計画 門司港地域モデルプロジェクト再配置計

1. 事業の目的・概要

老朽化が進み近い将来建替えが必要な公共施設を門司港駅付近に集約し、複合化・多機能化することで、施設整備費、維持管理費、運営費を削減する。また、利便性の向上及び市民サービスの効率化を図るとともに、市民利用施設や図書館の公共施設を活かし、地域の活性化を図る。

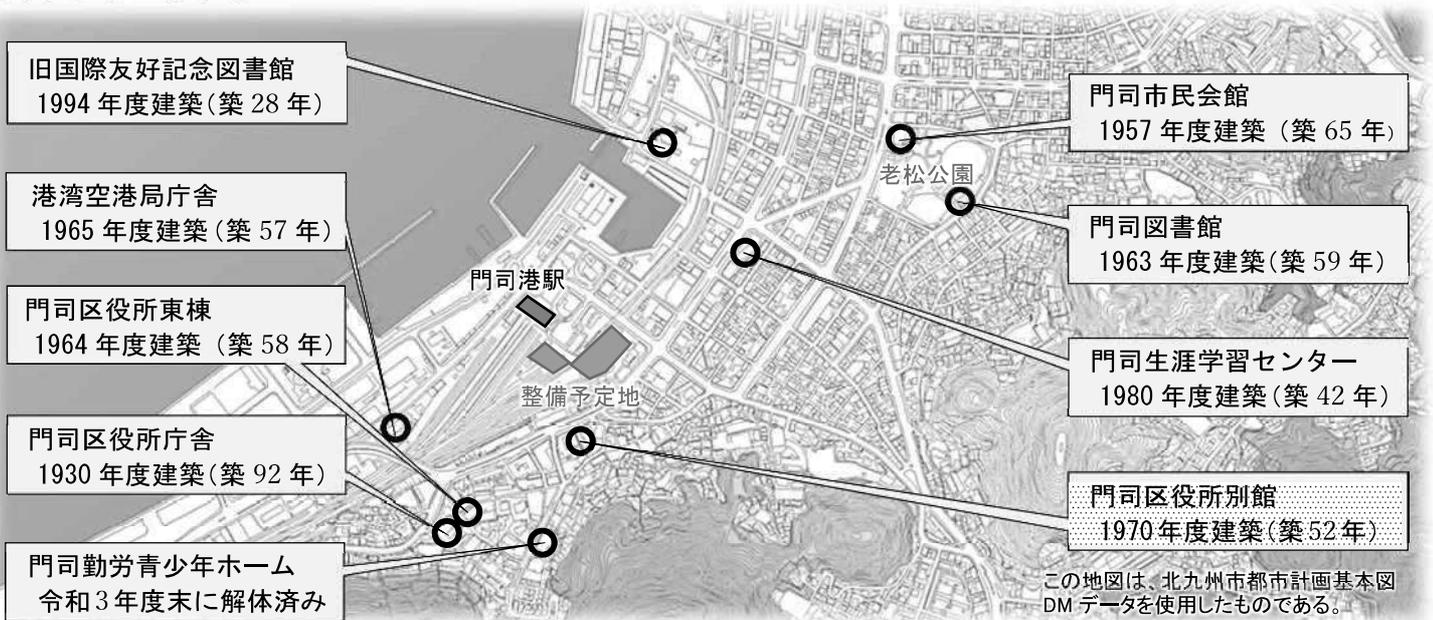
- ・交通利便性の高い門司港駅付近に公共施設を集約することで、区内各地からのアクセス利便性を高める。
- ・ホールや会議室、図書館等の文化施設を一体的に整備することで、より活発な活動を支える環境づくりを進めるとともに、周辺地域の活性化や賑わいの創出を図る。
- ・移転跡地を地域に応じた利用に転換することで、地域の魅力を高める。

【事業概要】

- 事業名：門司港地域複合公共施設整備事業
- 全体事業費：103.88〔億円〕
- 事業箇所：北九州市門司区清滝二丁目他
- うち施設整備費78.3〔億円〕

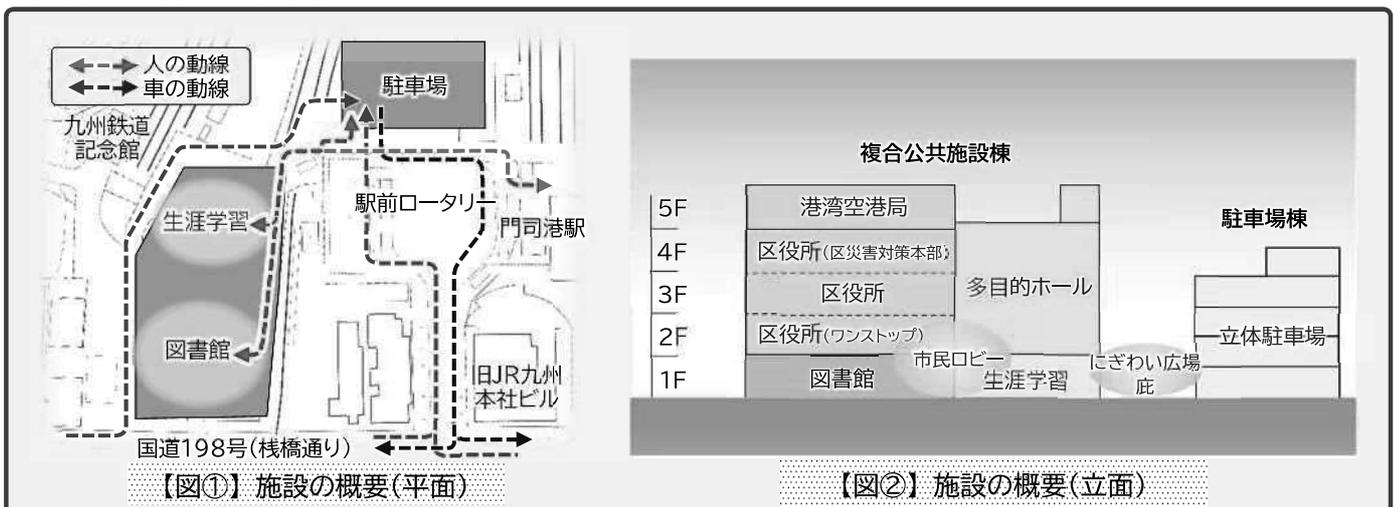
2. モデルプロジェクト再配置計画（門司港地域）

【集約施設の位置】



3. 複合公共施設の概要と特徴

【複合公共施設の概要】



門司港地域複合公共施設の整備イメージ

※現時点でのイメージです。今後、実施設計により変更になる可能性があります。

① 全体俯瞰図



⑤ 市民ロビー (1F)



⑥ 図書館 (1F)



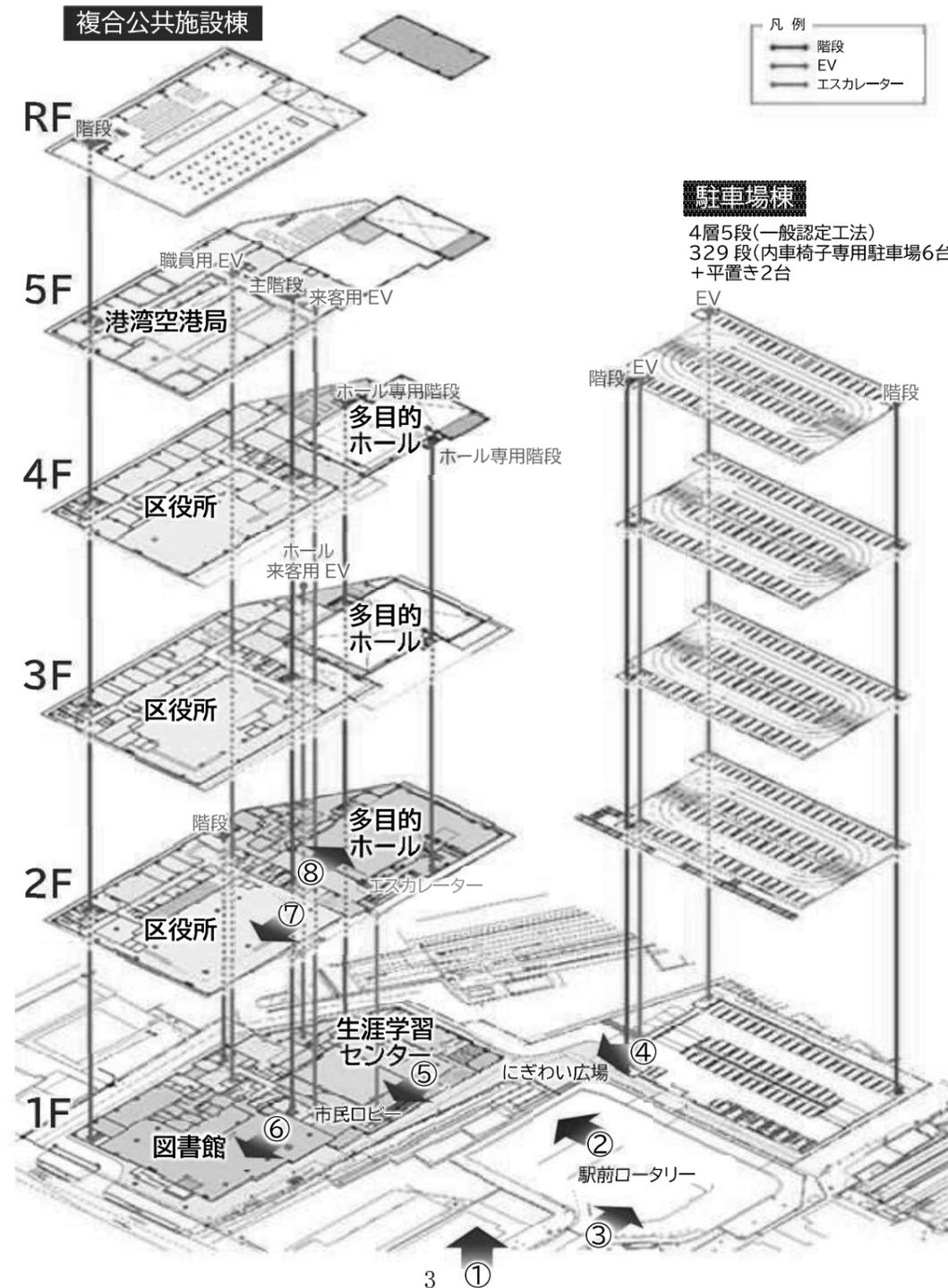
② 複合公共施設棟 (駅前ロータリー側)



③ 駐車場棟 (駅前ロータリー側)



④ にぎわい広場



⑦ 区役所窓口 (2F)



⑧ 多目的ホール (2F)



施設名称	計画面積
港湾空港局庁舎	1,900㎡
区役所	6,850㎡
多目的ホール	2,350㎡
生涯学習センター	1,200㎡
図書館	1,600㎡
計	13,900㎡